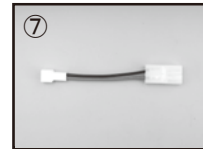
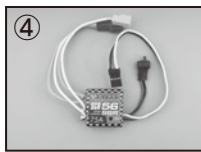


イチロク M用ランニングセット をお買い求め頂きまして有難う御座います。

お買い求めになりました組立てキットの説明書に従って、シャーシに搭載してご使用下さい。



セット内容

1. 送信機
2. 受信機
3. サーボ
4. スピードコントローラー
5. 充電器
6. バッテリー
7. 変換コネクタ
8. バンドリボン

●RCメカ（プロポ、受信機、サーボ、スピードコントローラー）

送信機に付属のアンテナを取り付け、単3乾電池8本（別途購入）を入れてからご使用下さい。

サーボはシャーシに搭載する前に（イチロク Mにご使用の場合、付属のサーボホーンを取り外してください）ニュートラル調整を行います。

スピードコントローラーの調整はS C R56S S Rの取扱説明書を参照してください。

の説明書をご覧ください。

●バッテリーの充電方法

バッテリーを充電するときには、充電器をAC100V(コンセント)に差し込む前に、充電器に変換コネクタをつなぎ、バッテリーを接続、最後に充電器をAC100V(コンセント)に差し込むようにしてください。

次に充電器を、AC100V(コンセント)に接続してください。

接続すると、LEDランプが赤色に点灯し充電が開始されます。LEDランプが黄色に変わると充電が完了です。（バッテリーによっては、充電中に赤色と黄色のLEDが交互に点滅する事があります。このような場合には充電完了と考えて、充電を終了してください。）

充電が完了したらまず充電器をAC100V(コンセント)電源から外し、次にバッテリーを外して車に搭載してください。

バッテリーと充電器の取扱には、充分注意が必要です

※ 燃えやすいものや、水等の近くでバッテリーを充電しないで下さい。また、カーペットや布団の上等にバッテリーを置いての充電は過熱、発火、爆発等の危険がありますので絶対にしないで下さい。

※ 充電中はバッテリーのそばから離れないで下さい。

充電中に充電器、バッテリー共に、時々手で触れてみて下さい。

通常共に温かくなるはありますが、手で持てない程熱く(50℃以上)なっているような時には、何らかの異常が発生したものと考え、すぐに充電を中止してください。特にバッテリーが熱くなっている時には、最悪の場合、爆発の危険性も考えられますので、至急充電を中止してください。

熱くなったバッテリーのご使用は、温度が冷めてからにして下さい。

熱くなったバッテリーを使用した際に、以前よりパワーが出なかったり、走行時間が極端に短くなったりした場合には、バッテリーの故障が考えられます。バッテリーが故障した場合には、危険ですから充電は絶対にしないで下さい。

※ 充電したバッテリーをすぐに再度追加充電すると、過充電となり危険です。

小型バッテリーの過充電は大変危険ですから、絶対にしないで下さい。

※ 走行を終えて保管しておく時に、バッテリーを空の状態ではなく、20分程充電してから、保管するようにしましょう。

空の状態での保管はバッテリーを痛めてしまいます。

バッテリーの為に、3週間に1度位は、使用しなくても充電することをお勧めいたします。そして保管時（イチロクMシャーシに載せたままの場合）には、安全性を考え、バッテリーのコネクタは必ず外しておいて下さい。

万一お困りの点が有りましたら

株式会社ヨコモ アフターサービス部

TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552

E-Mail support@teamyokomo.com までお問い合わせ下さい。

2009.07.10

◆RC メカ搭載の説明◆

プロポ (送信機) の取扱いについて

アンテナを必ず取り付けてからご使用下さい。

アンテナは全段伸ばしてご使用下さい。

電源を入れるときは必ずアンテナを取り付け、全段伸ばしてからプロポの電源スイッチ ON。次に車の電源を ON にします。走行後、電源を切る時は先に車側を OFF にしてからプロポの順で行って下さい。手順を間違えると車が暴走してしまい大変危険です。

バンドプレートは切り込み部にプロポのアンテナを通して取り付けて下さい。

※走行前の注意※

仲間と走らせる際、もしくは他に走らせている人がいた場合、自分のプロポの電源は入れず相手の方のバンド周波数を確認して下さい。もしも周波数が同一の場合、混信してしまい大切な RC カーが、暴走する恐れがあるため大変危険です。安全のため必ず確認してから走行させて下さい。

プロポの電池交換の目安ですが、プロポの赤い LED が点滅し始めたら交換して下さい。安全の為、早めの交換をお勧め致します。また電池はアルカリ電池のご使用をお勧め致します。

バンド周波数交換の際は、Futaba 製 AM 用 27MHz 帯クリスタルセットをお買い求め下さい。

プロポの詳細



サーボのニュートラル調整及びスピードコントローラーの設定時の接続方法

調整する前にバッテリーを充電します。

サーボのニュートラル調整はシャーシへ搭載する前に行います。

プロポに電池を入れ、スピードコントローラーにバッテリーを接続し、電源を入れた状態でプロポのステアリング、スロットルトリムを右の様にニュートラル位置に合わせます。この作業後、キット付属のサーボセイバーホーンを取り付けます。

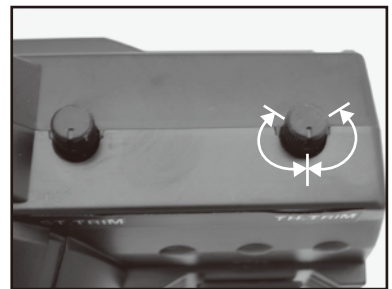
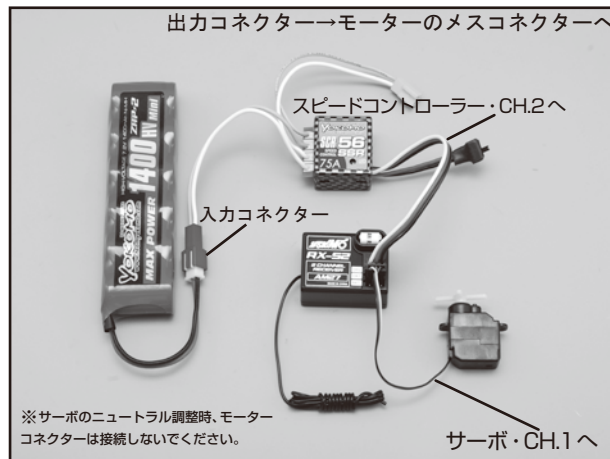
スピードコントローラーも同封されている説明書に従ってニュートラル、前後進の設定を行って下さい。

※こんな時は…

サーボの動きが悪い時、バッテリーが充電されていないことが考えられます、バッテリーを充電してください。

トリガーを引いたらサーボが動いたなど、プロポの操作とメカの作動が異なる場合は受信機のコネクト部分を確認して下さい。(写真参照)

サーボのコネクターは、受信機の CH.1 へ差し込みます。スピードコントローラーは CH.2 へ正確に差し込んでください。



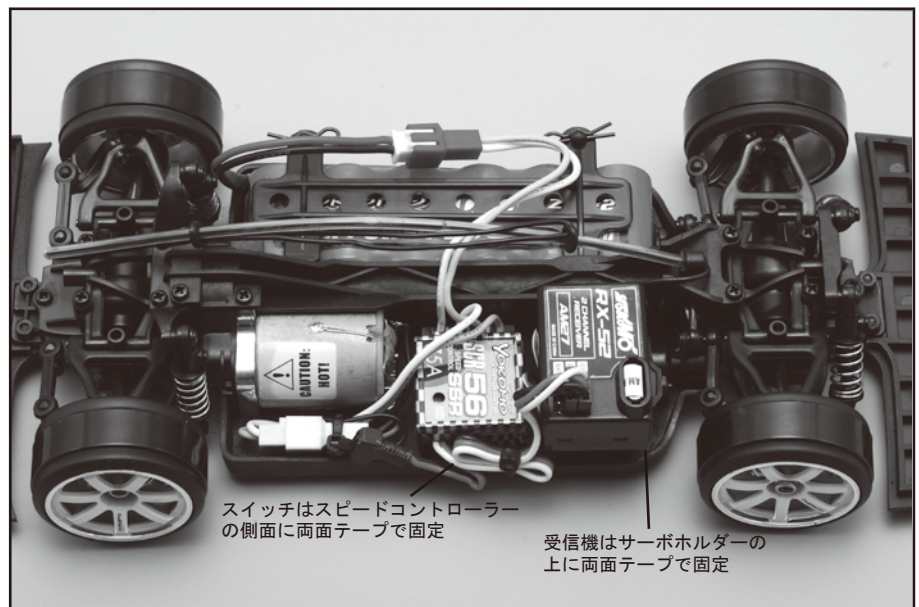
ST (ステアリング)、TH (スロットル) 各トリムの作動範囲の中間がニュートラル (中立) になります。

RCメカの搭載例

メカを搭載できるシャーシのスペースはサイズ的に限られています、右写真の搭載方法を参考に、キット付属の両面テープで固定してください。

スイッチは両面テープで固定します。

アンテナ線は、モーターコードやバッテリーコードと一緒に束ねない様にして下さい。誤作動の原因となりますので十分注意して下さい。



万一お困りの点が有りましたら

株式会社ヨコモ アフターサービス部

TEL 03-5613-7553

FAX 03-5613-7552

E-Mail support@teamyokomo.com

までお問い合わせ下さい。

SCR 56SSR 取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。

このスピードコントローラーは1/20～1/14スケールサイズに使用されているモーター用に開発された高性能スピードコントローラーです。

仕様

前進 ブレーキ 後退	有り
サイズ	20.0×26.0×16mm
重量	16 g
入力電圧	4-6cells(4.8～7.2V)
連続最大電流	75A
対応モーター	ターン数 無制限 (1/20～1/14 サイズ用)
B. C. E	5.0V
周波数	高周波タイプ
保護回路	有り
コネクター	小型タイプ
セットアップ	自動
LED	セットアップ終了後点灯

注意

- ・電極(+)をショートさせない様に注意してください。破損の原因になります。
- ・本体が異常に発熱したり煙などが出た場合、ただちにバッテリーを外して下さい。
- ・ケースを外したり改造したりすると故障の原因になり修理が出来なくなることがあります。
- ・スピードコントローラーの入力(バッテリー)用及び出力(モーター)用コードまたは、コネクターを交換するような場合には、十分な注意が必要です。特に+極は絶対に間違わないように正確にハンダ付けして下さい。
- ・コネクターを接続する際は、向きを良く見て間違えないよう差し込んでください。

使用方法

- 1 スピードコントローラー本体は、両面テープでシャーシーにしっかり固定してください。
- 2 スピードコントローラーの配線をします、三本のコードが付いているコネクターを受信機のコネクター差込口C.H.2に差し込みます。その際極性を間違えないようにしてください。黒(-)、赤(+)、白(信号)ですので差し込む向きに注意(向きや極性については使用する受信機等の説明書を参照)してください。
次にオス型出力コネクターをモーターと接続しメス型入力コネクターをバッテリーに接続します。
- 3 セットアップは、まず送信機のスイッチを入れ、送信機のスロットルトリムのニュートラルを確認して下さい。
- 4 次にスピードコントローラーのスイッチを入れます。この時スロットルレバーを操作しないでください。
スピードコントローラーは自動設定ですので、スイッチが入った時点をニュートラルに設定します。次のスロットルレバーの操作で前進、後進の認識をしますので最初に必ず前進側に目一杯引く、後進側に目一杯押すの順に操作をしてください。

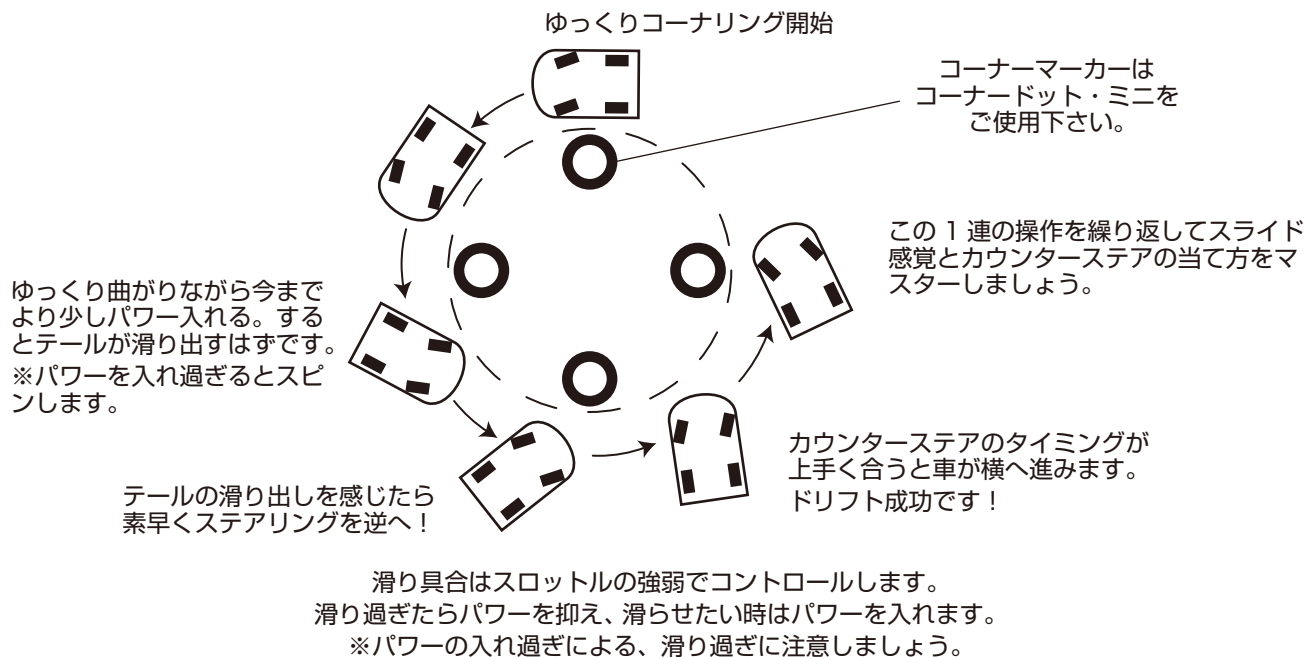
※上記の操作(セットアップ)は走行毎に行う必要があります。

- ※ 使用する受信機が古いタイプの物で、メーカーにより+極の配置が、現在のものと逆の配置になっているものがありますのでよく調べて差し込んでください。配置が違う場合、線を入れ替える必要があります。コネクターの一部にスリットがあります、そのプラスチックのツメを先端のとがった物などでツメを起しコードを抜き線を入れ替えます。

●ドライビングのポイント1・定常円旋回

ドリフトの基本となるのが定常円旋回。丸く円を描く練習から始めて下さい。初めのうちは広いところで2メートルくらいの円を描くようにゆっくりとまわってみましょう。左右同様にまわれるように練習して下さい。

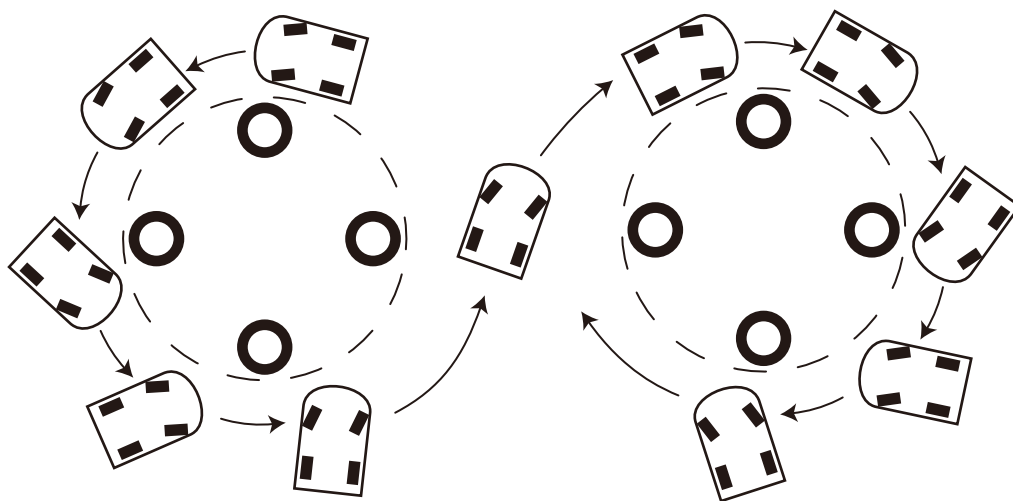
※一気にパワーを入れてしまうとスピンしてしまうので、スロットル操作はゆっくりスムーズに。



●ドライビングのポイント2・8の字走行

左右同じように回れるようになったら切り返しを要する8の字走行でテクニックを磨きましょう。

切り返しスムーズに行えるようになればドリフト走行の自由度はさらに広がります。



★ドリフト走行のお勧めアイテム

- ・ 駐車場や広場でのコーナーマーカーに最適なレーシングパイロンシリーズをご使用下さい。
YT-RMP レーシングミニパイロン●980
YT-CDM コーナードット・ミニ●1600
- ・ ドリフト走行の魅力やドラテク講座などを収録した DVD もご覧下さい。
DVD-O4HD 「広坂真美のハウ・トゥ・ドリフティング」(税込 630 円)

★気になる情報満載

発売元であるヨコモのウェブサイトでは、ドリフトレーサーはもちろんのこと RC カーに関する最新情報が満載！

<http://www.yokomo.co.jp/> もしくは <http://www.teamyokomo.com/> を是非ご覧下さい。